


●調査の概要
 ①調査方法 11～12月に行われた市民満足度調査と併せて、無作為に抽出した市民1,000人を対象に郵送方式で実施。自由記入項目を含む34項目から、1人につき3項目を選択する形式を採用しました。
 ※11月21日付けで調査票を発送。
 12月17日現在の集計結果を掲載しています。
 ②回答状況 有効回答者数468名 回答率46.8%

6月	4日・白石中学校、東中学校、福岡中学校の生徒でつくる「PSCパトロール」の活動を支援しようと、市内の企業や民間団体がサポート協議会を設立 13日・碧水園で「第16回伝統芸能フェスティバル」開催 17日・市民シャトルボード大会開催 23日・東北新幹線開業25周年を記念し、白石蔵王駅で記念イベントを開催 下旬・公立刈田総合病院で、院長と一部の医師らの経営方針や、薬品管理などの問題の意見不統一がメディアに掲載され、管理者の白石市外二町組合では、後に経営改善に向けた取り組みを実施
7月	3日・姉妹都市のあるオーストラリアからグリーンリース使節団15名が来白(～8日) 6日・武家屋敷催事「七夕まつり」(～8日) 15日・台風4号の影響で東北部に激しい豪雨(～16日)。市内各所に甚大な被害が発生し、大規模地滑りの起こった小久保平など、3地区の住民が一時孤立。白石川サッカー公園が使用不能になる被害も発生 中旬・「中心市街地の賑わいづくり研究会」が市の新しい特産品として企画した「こけし風鈴」が販売開始 21日・ホワイトキューブで「さわやかフェスティバル」開催
8月	2日・市内の中学生12名がオーストラリア・ハーストビル市を訪問(～13日) 11日・2007白石夏まつり開催(～20日)。12日の花火大会では打ち上げ花火が暴発、約50発が制御不能に 18日・海老名・白石姉妹都市親善少年野球交流大会 下旬・市職員のあり方を記載した「白石市職員10の心得」を制定。全職員に配布
9月	6日・市内の小学校図書館の開放を試験的に開始 16日・第21回みやぎ蔵王高原マラソン大会開催 第12回姉妹都市国際親善水泳大会 25日・武家屋敷催事「お月見と古文書展」(～10月8日) 28日・女性用下着などの繊維製品メーカー、白石ソーイングが工場を閉鎖 29日・不忘気会の主催の「不忘オートムフェスタ」開催(～30日) 30日・弥治郎こけし村ふれあい祭り ・食料品製造の太平食品工業東北工場が事実上の閉鎖
10月	1日・プレ仙台・宮城デスティネーションキャンペーン開始(～12月)。市内では9月から「レトロフェスタin SHIROISHI」など、多彩な催しを開催 ・秋の市内一斉クリーン作戦実施 7日・第79回白石市民体育大会 8日・スパッシュランドしらいしが入館者150万人を達成 14日・国内唯一の国際公認クラシックカーレース「ラ・フェスタ ミッレミリア」の参加車が市内を通過 15日・越河地区の農業集落排水処理施設「越河クリーンセンター」が稼働 17日・白石市と市内の建設・建築団体との間で災害協定を締結 20日・白石城で「子ども白石城」開催。市内の中学生が市政への提言を披露 21日・白石城茶会開催。白石城本丸内では「城の会」も開催 26日・南中学校の校舎改築工事開始。来年8月に完成予定 27日・第38回白石市民文化祭(～11月3日) 28日・第9回福祉まつり
11月	1日・白石デジタル中継局が開局。市内の大部分で地上デジタル放送が視聴可能に 3日・第29回白石市農業祭(～4日) 19日・第8回白石市社会福祉大会 30日・中町の食品スーパー「ヤオチューブ本店」が閉店。50年以上の歴史に幕
12月	21日・みやぎ蔵王白石スキー場開き 31日・白石城「除夜の鐘を鳴らす会」

市民が選んだ 平成19年10大ニュース

平成19年は市民の皆さんにとってどのような年でしたでしょうか。市では11～12月に実施した市民満足度調査と併せ、一般市民の方を対象としたアンケート調査を実施しました。台風被害や公立刈田総合病院の問題など、2007年は話題に富んだ一年となりました。平成20(2008)年は、皆さんにとってさらなる飛躍の年となることを期待しています。


7位 (56票) 市が整備を進めていたJR白石駅前の公衆トイレが完成(4月上旬)



▲JR白石駅前に完成した公衆トイレ

駅前公衆トイレの設置を要望する市民の声を受け、本市がJR白石駅西側に建設していた公衆トイレが4月上旬に完成しました。男女別と多目的トイレを備えており、外観は城下町風に瓦とすっきりが使われています。

8位 (55票) 妊婦健康診査の助成を拡大する「赤ちゃん誕生応援事業」を開始(4月1日～)



▲健康相談の様子


助成を県内で行っているのは本市と角田市のみ。今後も妊婦の安全な出産を応援していきます。

2月議会定例会で発表された本年度の施政方針「4万人都市復活大作戦」。4月以降、この方針に基づいた施策が次々と実施されました。この中で、子育て関連事業における目玉施策として4月から導入されたのが、妊婦健康診査費用の助成を拡大する「赤ちゃん誕生応援事業」です。これまで2回目までしかなかった助成が、10回にまで拡大され、妊婦の経済的な負担が大幅に軽減されました。現在、国が求める5回以上の助成を県内で行っているのは本市と角田市のみ。今後も妊婦の安全な出産を応援していきます。

9位 (53票) 白石デジタル中継局が開局、市内の大部分で地上デジタル放送が視聴可能に(11月1日～)

11月1日に白石デジタル中継局が開局し、市内の大部分の地域でデジタル放送を見ることができるようになりました。この白石デジタル中継局は、NHK、東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、東日本放送の各社共同で大萩山に建設されました。越河地区と小原地区(七ヶ宿中継局)については、2009年(平成21年)中に開始される予定です。なお、現在のアナログ放送は2011年7月24日までに終了し、デジタル放送に完全移行する予定です。


10位 (39票) 統一地方選挙の後半戦、白石市議会議員選挙を電子投票で実施(4月22日)



▲投票を行う有権者


4月22日に行われた白石市議会選挙。定数が24から21に削減となった今回の選挙には、25名が立候補し、激しい選挙戦が繰り広げられました(10名が初当選)。市では今回の選挙を前回の市議選や、市長選挙に引き続き電子投票で実施。全国的にも極めて例が少ないとあって、マスメディアからも大きく取り上げられました。大きなトラブルもなく無事に終了し、開票時間も49分に短縮することができました。

11位以降 11位は「PSCパトロール」のサポート協議会設立(6月4日)と食料品製造の太平食品工業東北工場の閉鎖(9月30日)が32票で並ぶ結果となりました。今年、市内では既存企業の閉鎖や小売店の閉店が相次ぎました。11月末には、長年にわたり中心商店街の核として営業を続けてきた中町のヤオチューブ本店が閉店しました。事業所の閉鎖・閉店に一票を投じた方は、投票者全体の37%に上ります。その一方で、市内の若手商業関係者でつくる「中心市街地の賑わいづくり研究会」が企画した「仇討ちシリーズ」や「こけし風鈴」が好評を得るなど、若い力の息吹を感じることができた年となりました。「仇討ちシリーズ」の発売開始(4月上旬～)は、保育園での休日保育の導入(4月1日～)と並んで13位(27票)にランクイン。新しい年に向けて、市内経済の活性化のために今何が必要かを、市民一人ひとりが考えなければならぬ時代になっています。



▲仇討ちシリーズ


1位 (210票) 公立刈田総合病院内部の意見不統一がマスメディアに掲載され、話題に(6月下旬～)



▲今後の取り組みに注目が集まります。

白石・刈田地域の医療拠点としての役割を担う公立刈田総合病院。6月下旬以降、院長と一部の医師らの経営方針や、薬品管理の問題など、病院内部の意見不統一がメディアに掲載され、市民の関心を集めました。これを受けて、病院を管理する白石市外二町組合では、後に経営改善に向けた取り組みを実施。医療ニーズの多様化と、高度専門化・細分化が進む中、今後も地域の基幹病院として信頼されるよう、より一層質の高い患者サービスを目指していくことが求められています。

2位 (137票) 台風4号接近の影響で、市内各所に甚大な被害が発生(7月15日～16日)




▲崩落した市道小久保平～原線

7月に日本に接近・上陸した台風では過去最大級のものとなった台風4号。本市には15日から16日にかけて最接近し、市内各所で土砂崩れや水害が発生するなど、市全域に甚大な被害をもたらしました。特に、市道で大規模地滑り・土砂崩れが発生した西部地域では、小原・小久保平地区など、3地区の住民が一時孤立。このほか、白石川サッカー公園が使用不能になる被害も発生しました。被害を受けられた皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

3位 (96票) 市内唯一の家電量販店が閉店(3月25日)

大平森合地区にあるショッピングタウンにあった市内唯一の家電量販店「ベスト電器HALヤオチューブカウボーイ店」が、3月25日で閉店しました。経営会社の家電事業からの撤退を受けたもので、利用者からは閉店を惜しむ声が多数聞かれました。

4位 (95票) 2007白石夏まつりの花火大会で打ち上げ花火が暴発(8月12日)




▲暴発時の花火

白石川河川敷で毎年行われている恒例の花火大会。夏の夜を彩る美しい花火を見ようと集まった、24,000人の見物客の前で暴発事故が発生しました。打ち上げ花火の筒1本が暴発し、次々とほかの花火に引火。約50発が制御不能になりました。幸いにもけが人は出ませんでした。一つ間違えば大惨事ともなりかねない事態でした。実行委員会では、観客の皆さまが安全に大会を楽しめるよう、事故の再発防止に取り組んでいきます。

5位 (71票) 編み物用メリヤス針製造の杉浦製作所白石工場が閉鎖(3月31日)

市の誘致企業第1号として昭和37年に操業を開始したメリヤス針製造の杉浦製作所白石工場が、3月末で閉鎖となりました。長年にわたり「針工場」の愛称で親しまれてきた杉浦製作所。長期的な展望に立った上での閉鎖決定とのことで、市では緊急雇用経済対策本部を設置し、関係機関と連携して再雇用への対応に当たりました。

6位 (63票) 市民全体の健康増進施設「薬師の湯ひまわりセンター」がオープン(4月25日)



▲4月25日に行われた記念式典

平成18年3月末に営業を終了した福岡蔵本字薬師堂地内の「かんぼの宿白石」が、4月25日に社会福祉法人「白石ひまわり」が運営する市民全体の健康増進施設「薬師の湯ひまわりセンター」(愛称:薬師の湯)として生まれ変わりました。市では70歳以上の市民に日帰り入浴無料バスを発行し、その利用も好調に推移しています。宿泊やほっとくらぶ(生きがいデイサービス)、老人クラブ支援などの事業も行われている薬師の湯。ご家族で、あるいは友人とお誘い合わせの上、ぜひご利用ください。

2007年の主な出来事
※太字は10大ニュースの候補項目

1月	1日・白石城一周元旦マラソン。初日の出を拝む会 2日・弥治郎こけし村でこけしの初挽き 7日・武家屋敷催事「七草の会」 ・平成18年度成人式 8日・白石市消防団出初式 14日・碧水園「舞台びらき」 21日・「白石市手をつなぐ育成会」が「新成人を祝う会」を開催
2月	1日・市民グループ「昔・むかしを伝える会」がすすむひろばで豆まき大会を開催 3日・武家屋敷催事「節分の会」 4日・ホワイトキューブで市民綱引き大会を開催 13日・2月議会定例会開催。平成19年度施政方針「4万人都市復活大作戦」を発表。4月以降、この方針に基づいた施策を展開 17日・鷹巣地区の土地区画整理地内で新しい住居表示を実施。鷹巣西一～三丁目、鷹巣東一～四丁目という新しい住所が誕生
3月	2日・2月議会定例会で平成19年度の当初予算承認。予算総額は3年連続で減少 3日・武家屋敷催事「ひな祭り」 9日・第26回公民館まつり(～11日) 7日・小原温泉の岩風呂「かつらの湯」が入場者5万人を達成 18日・碧水園で「郷土の伝統芸能鑑賞会」開催 ・「白石市手をつなぐ育成会」が「卒業を祝う会」を開催 26日・吉見教育基金顕彰式 25日・市内唯一の家電量販店「ベスト電器HALヤオチューブカウボーイ店」が閉店 31日・編み物用メリヤス針製造の杉浦製作所白石工場が閉鎖
4月	1日・妊婦健康診査の助成を拡大する「赤ちゃん誕生応援事業」を開始 ・婚姻届を提出した新婚市民に対してこけし型印鑑「めんこ印」を贈呈 ・これまで実施していた延長保育に加えて、新たに休日保育を開始 ・定住促進を目指した「白石市定住促進奨励金制度」を開始 ・春の市内一斉クリーン作戦実施 上旬・「中心市街地の賑わいづくり研究会」が企画した「仇討ちまんじゅう」「仇討ちクッキー」が販売開始。後に「仇討ちもろみ」「仇討ちドーナツ」なども登場 ・市が整備を進めていたJR白石駅前の公衆トイレが完成
22日	統一地方選挙の後半戦、白石市議会議員選挙を電子投票で実施。定数21に対し25名が立候補。開票は49分で終了
25日	市民全体の健康増進施設「薬師の湯ひまわりセンター」がオープン。記念式典実施
27日	福岡八宮・川原地区の養豚場計画に対し、地元住民が2,200人分の反対署名簿を提出。業者は6月上旬から営業を開始
28日	武家屋敷催事「端午の節句展」(～5月6日)
5月	3日・2007白石市民春まつり ・第49回全日本こけしコンクール開催(～5日)。市内のこけし工人・加賀沼昌行さんが内閣総理大臣賞を受賞 12日・田舎暮らし体験ツアー開催(～13日)。10月6日～7日にも実施 13日・第31回こどもまつり 26日・壽丸屋敷で「第3回手づくりの市」開催(～27日)